

パーソナリティ障害は今

***当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。 <承認期間:平成29年7月1日~平成34年6月30日 承認番号:W29111>**

主催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団

企画講師：牛島 定信 先生（ホツミひもろぎクリニック院長）

講座日程：全5回

回	開催日	講義内容(予定)	講師(敬称略)
1	6/6 (水)	パーソナリティ障害再考	ホツミひもろぎクリニック院長 牛島 定信
2	6/13 (水)	境界性パーソナリティ障害	国際医療福祉大学三田病院精神科病院教授 平島 奈津子
3	6/20 (水)	森田療法からみた社会参加困難症 (回避性パーソナリティ障害)	東京慈恵会医科大学精神医学講座講師 川上 正憲
4	6/27 (水)	パーソナリティ障害の精神療法	医療法人社団慶神会武田病院院長 武田 龍太郎
5	7/4 (水)	スキゾイド構造のパーソナリティ障害	聖みどり病院副院長 喜多 洋平

講義時間：毎週水曜日、午後6時30分～8時(90分)

受講料：10,000円(税込み)

定員：45名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講対象：精神保健の領域で、治療・教育・相談・指導等に携わっている専門家の方々、ならびに大学生・大学院生など本テーマに関心のある方、企業・学校・地域社会のメンタルヘルス関係者

会場：明治安田こころの健康財団 講義室

東京都豊島区高田 3-19-10 TEL 03-3986-7021

(JR山手線、西武新宿線、東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分)

DSM-Ⅲ(1980)で精神疾患のひとつのカテゴリーとして登場したパーソナリティ障害も、37年を経た現在、定着したかにみえる。しかし、臨床現場でかんじることは、素質的要因に加えて幼児期の親子関係の問題(愛着障害)といった考え方だけでは限界があるような気がする。本講座では、20世紀の精神医学的遺産(性格論)を踏まえる一方で、新しい精神発達論を展開できないかと考えている。いろいろな領域の臨床現場からの参加者との間で、討論ができればと思っている。

【ホツミひもろぎクリニック院長 牛島 定信】

※事例を扱う関係から、守秘義務を守れる方に限定します。